



第58回 定時株主総会 説明資料

2025年6月27日

Together for a better
healthcare journey

Disclaimer

- ・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

Index

1-1 当期の業績

1-2 当期の取り組み

1-3 連結計算書類

2 対処すべき課題

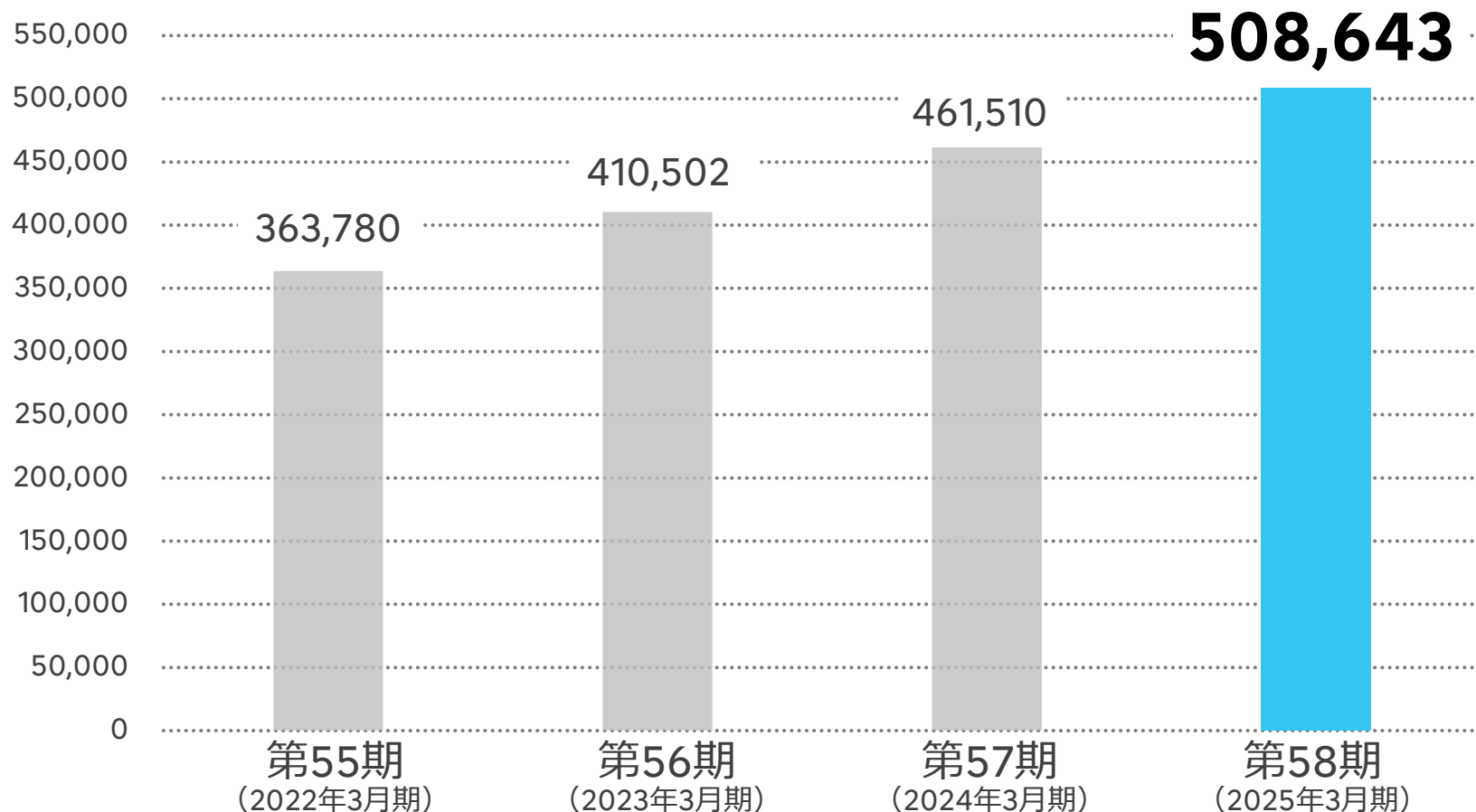
1-1 当期の業績

売上高（連結）



(単位：百万円)

前期比 **10.2%増**

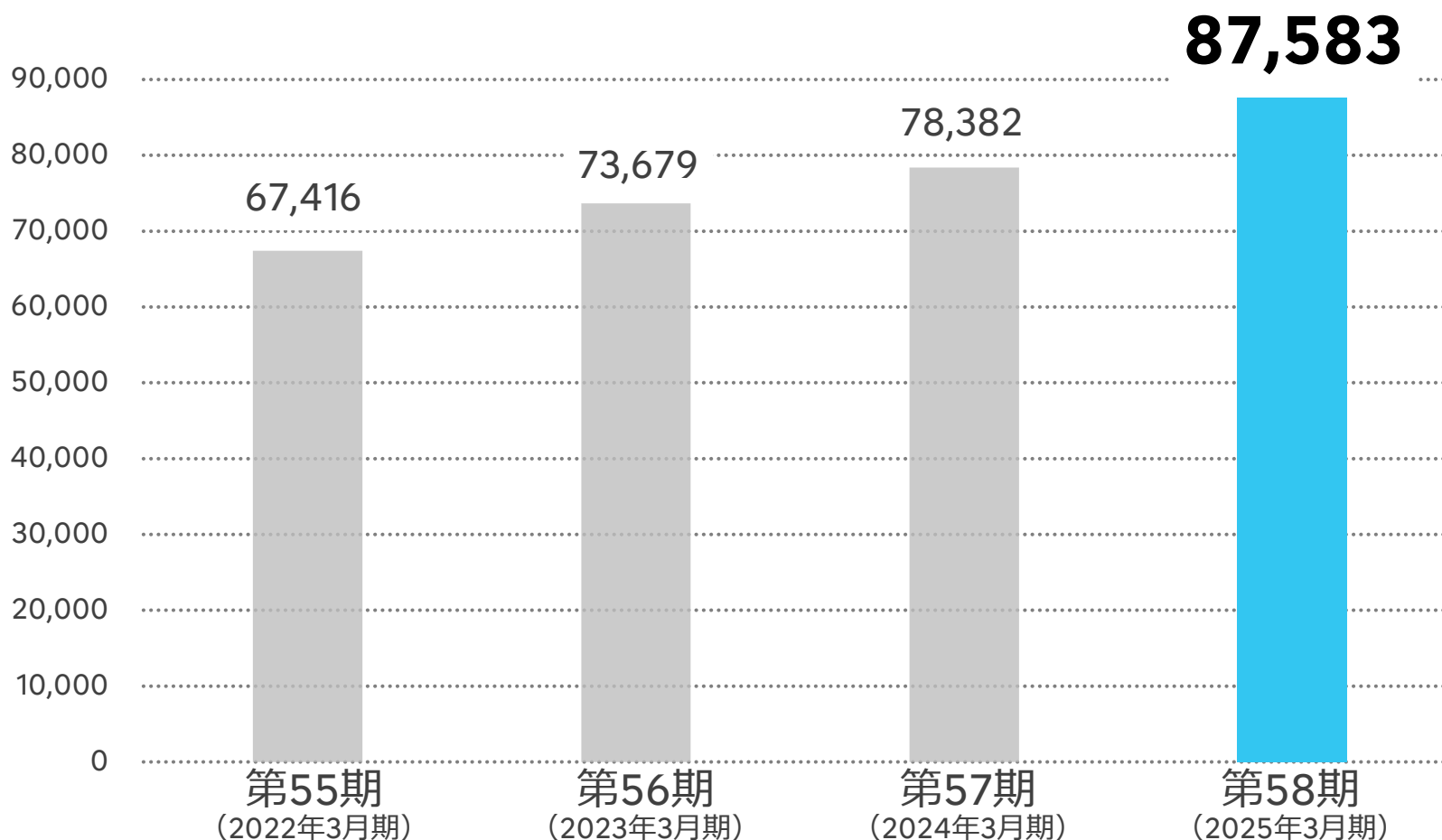


営業利益（連結）



前期比 **11.7%増**

(単位：百万円)

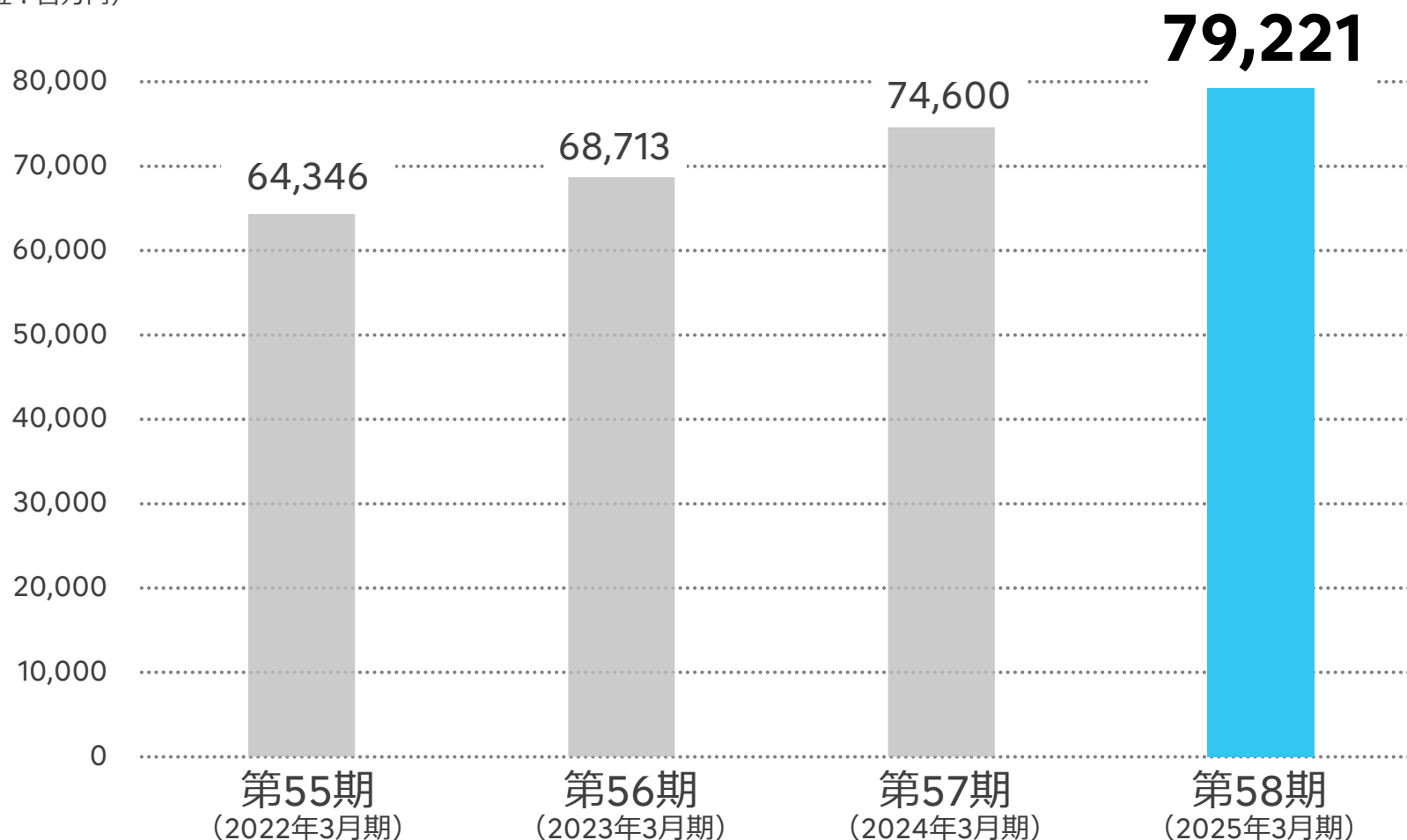


税引前利益（連結）



前期比 **6.2%増**

(単位：百万円)

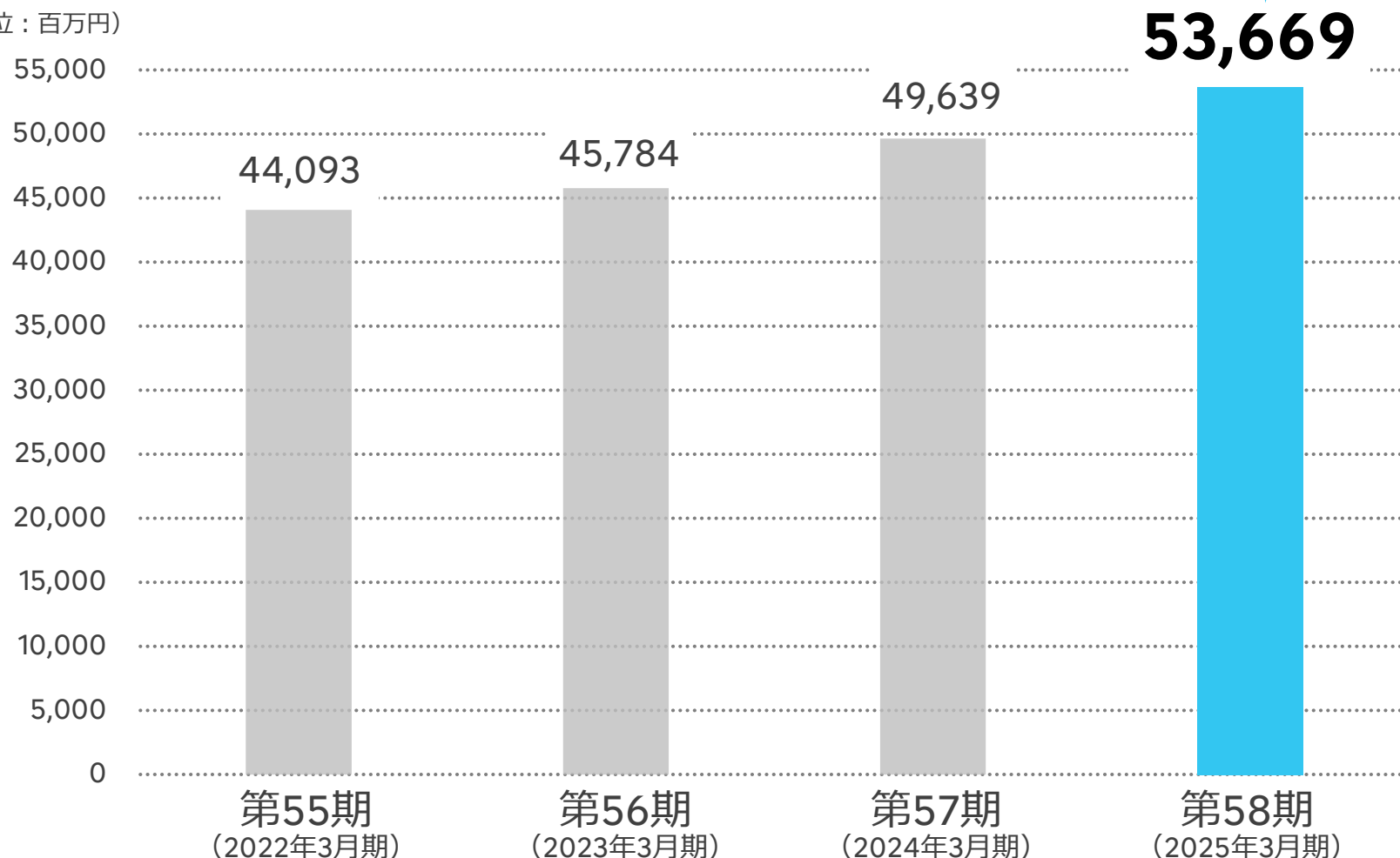


親会社の所有者に帰属する当期利益（連結）



前期比 **8.1%増**

(単位：百万円)



1-2 当期の取り組み

当期の取り組み



全般

- ◆ ヘマトロジー分野
(血球計数検査)
XR™シリーズグローバル展開
- ◆ 血液凝固検査分野
直接販売効果
- ◆ 新興国の成長



全地域・事業・分野で増収
5,000億円を超える売上を達成

売上高、営業利益、当期利益いずれも過去最高

当期の取り組み

全般

- ◆ 新興国での事業展開の加速
- ◆ 機器・試薬両方の生産機能を持つ拠点を整備
- ◆ 手術支援ロボットのグローバル展開



インド新生産拠点

さらなる成長を目指す

メディカルロボット事業

- ◆ 2023年 シンガポール
2024年 マレーシア
販売承認取得



シンガポール



マレーシア

- ◆ 2024年 呼吸器外科における
保険適用取得



©Tezuka Productions

対象診療科のさらなる拡大に取り組む

インド新生産拠点

- ◆ 2025年4月より本格稼働
- ◆ 多項目自動血球計数装置の生産を開始

世界中のお客様へ安定的に製品をお届けするための
生産体制の整備を迅速に進める



動画：
Made in Japanの高品質を世界中へ
～インド生産移管プロジェクト～

<https://youtu.be/Xsm0sOb3OhI>

機器および試薬

- ◆ ヘマトロジー
(血球計数検査)

試薬

- ◆ 血液凝固検査



機器および試薬の売上が増加

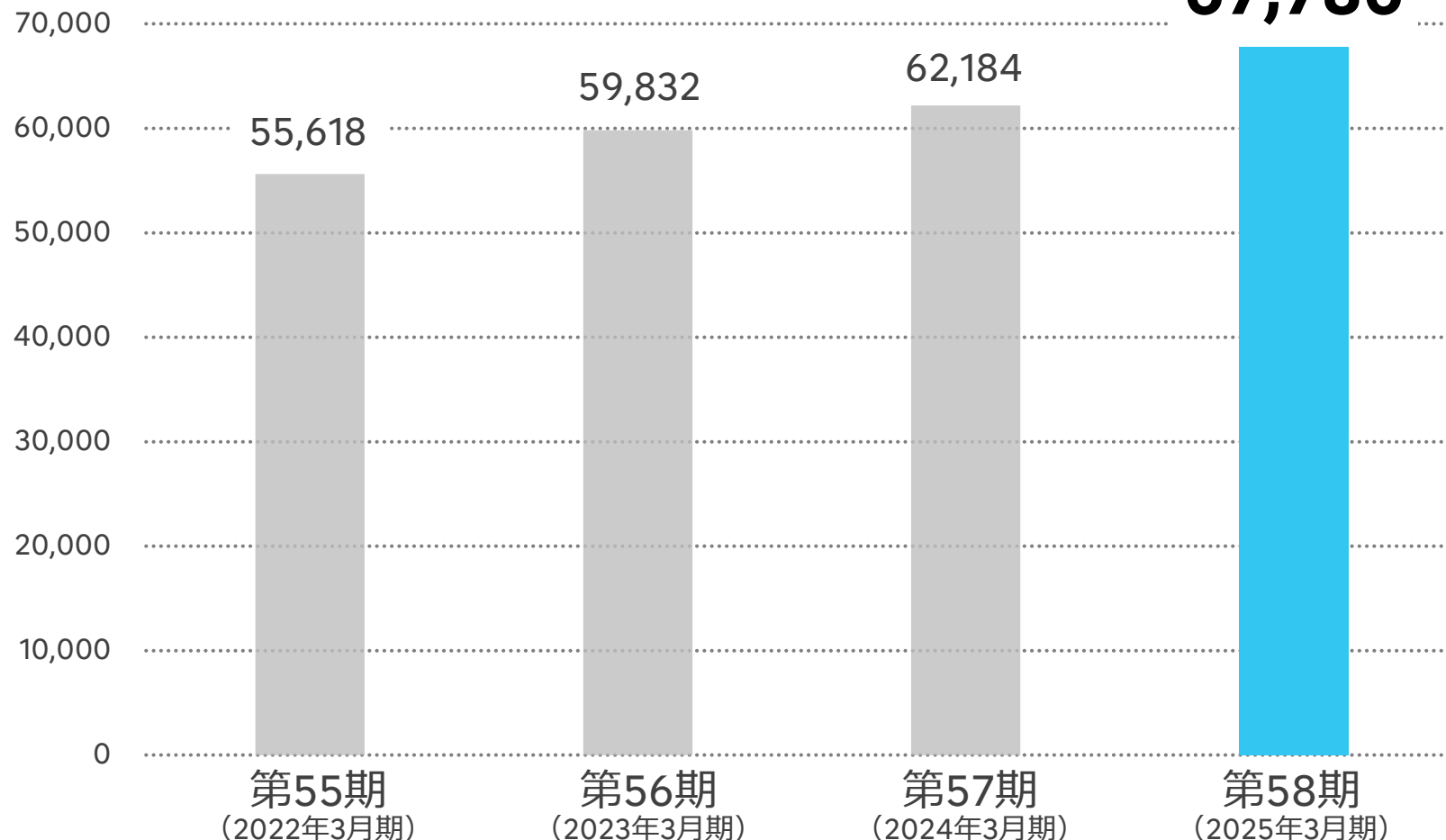
国内販売（国内売上高）



前期比 **9.0%増**

67,786

（単位：百万円）



試薬・保守サービス

◆ ヘマトロジー (血球計数検査)

試薬

◆ 血液凝固検査



試薬・保守サービスの売上が増加

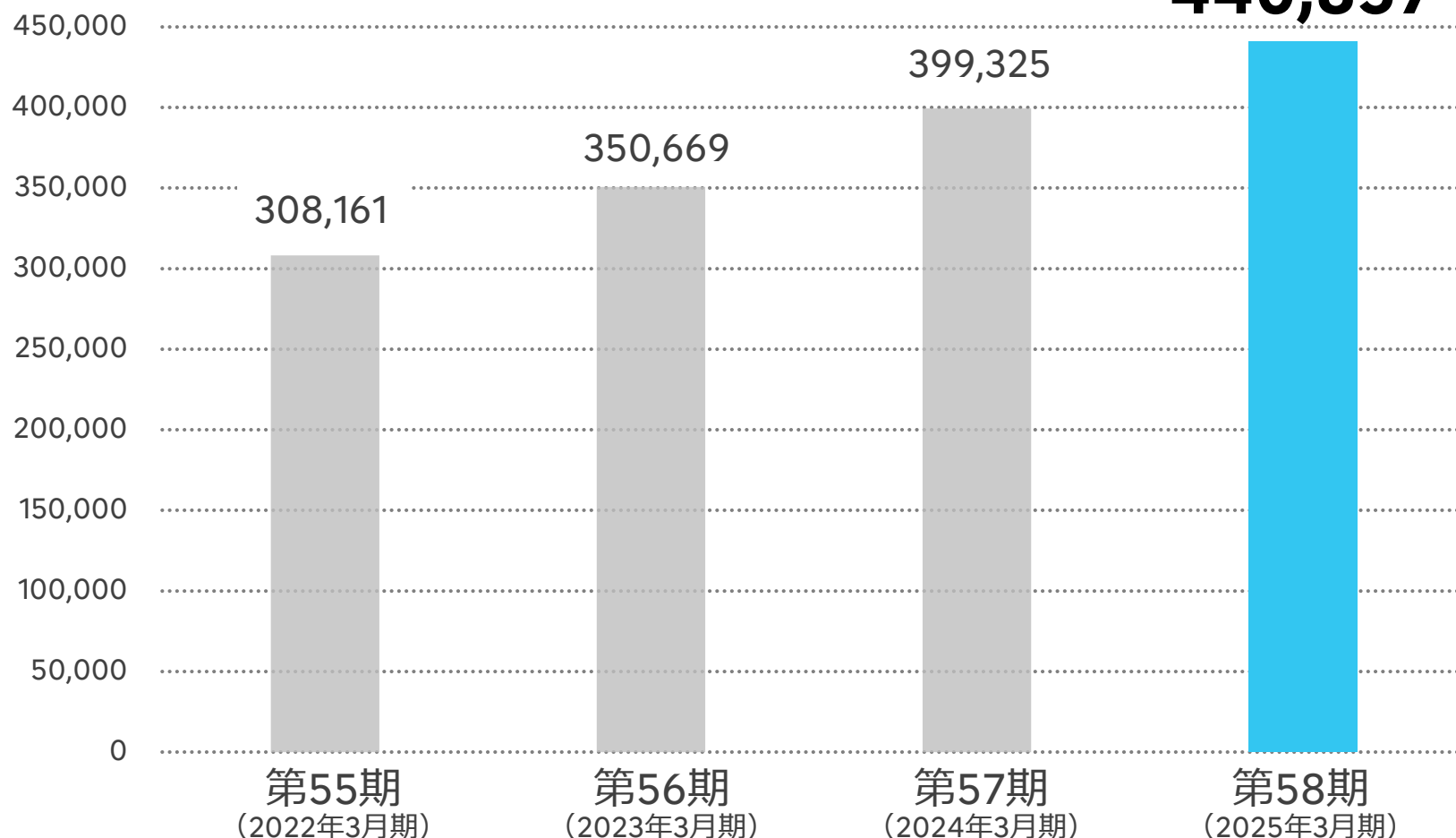
海外販売（海外売上高）



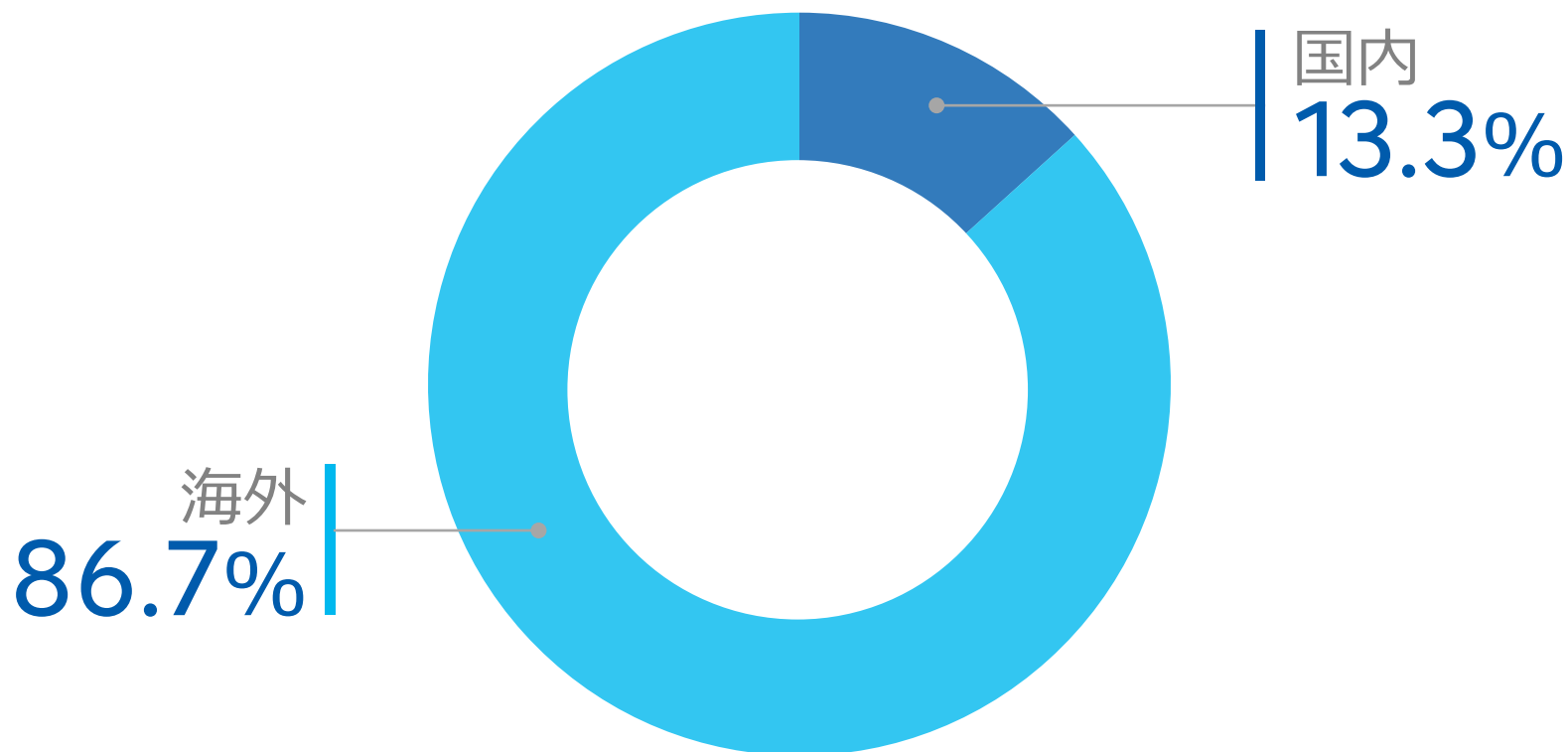
前期比 **10.4%増**

440,857

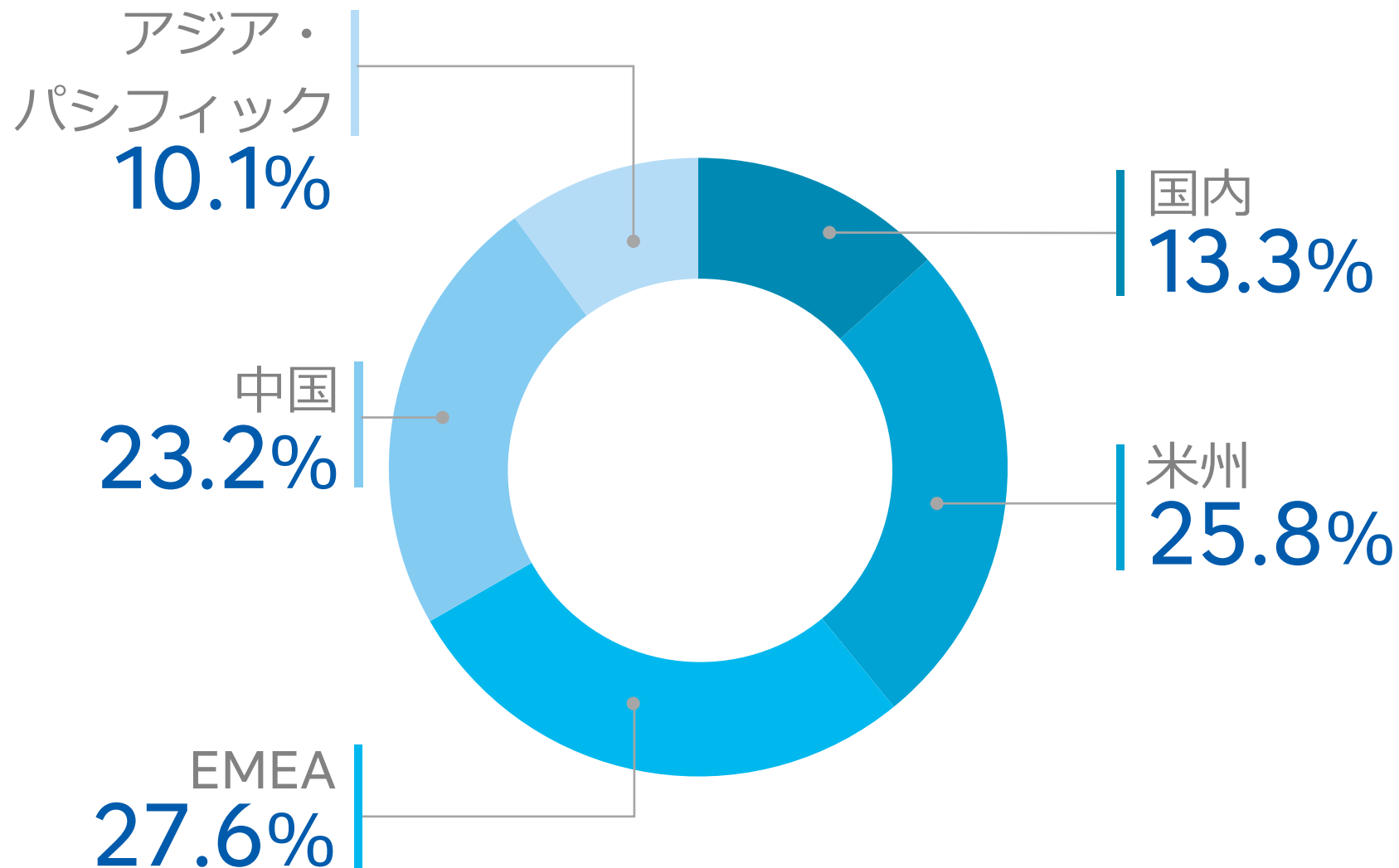
（単位：百万円）



地域別売上高構成比



地域別売上高構成比



1-3 連結計算書類

連結財政状態計算書 (IFRS)

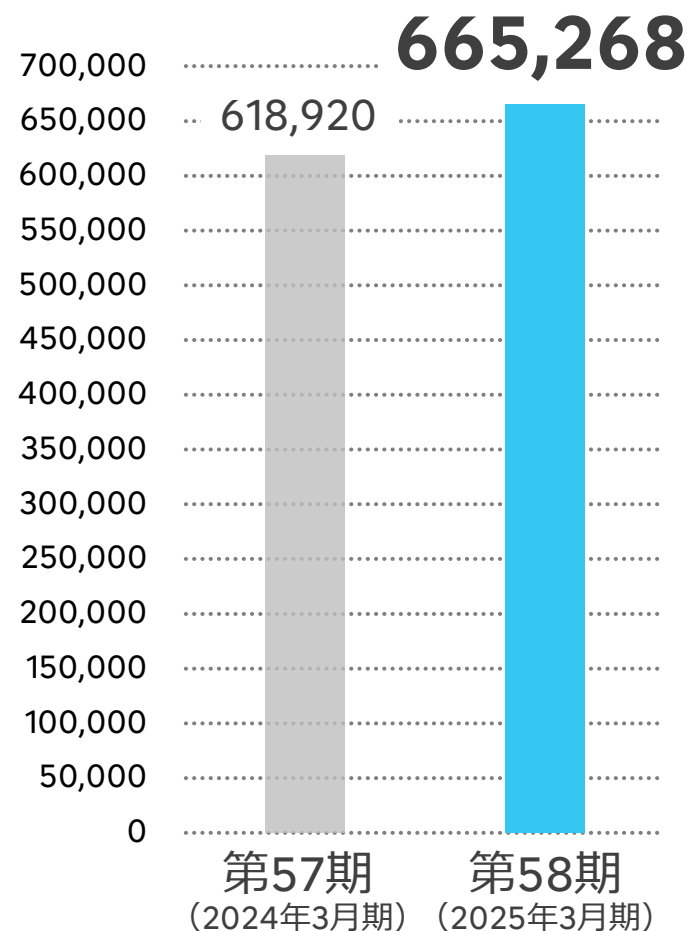


〔資産〕

(単位：百万円)

項目	第57期	第58期
流動資産	343,459	364,821
非流動資産	275,461	300,447
資産合計	618,920	665,268

46,348百万円増



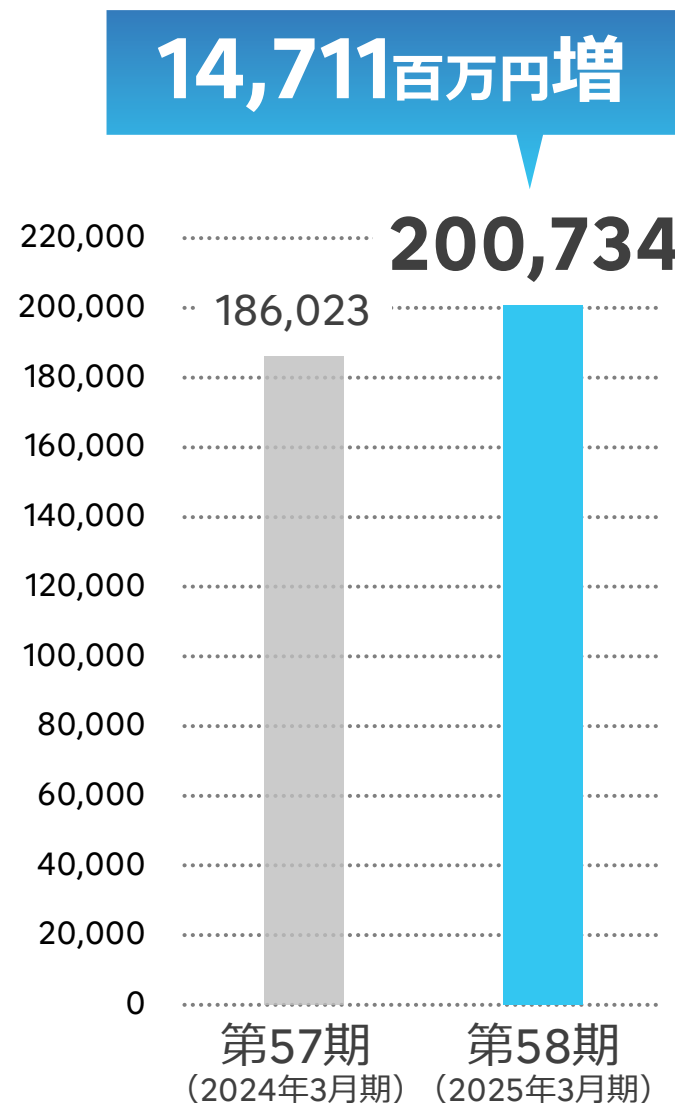
連結財政状態計算書 (IFRS)



〔負債〕

(単位：百万円)

項目	第57期	第58期
流動負債	118,084	122,826
非流動負債	67,938	77,908
負債合計	186,023	200,734



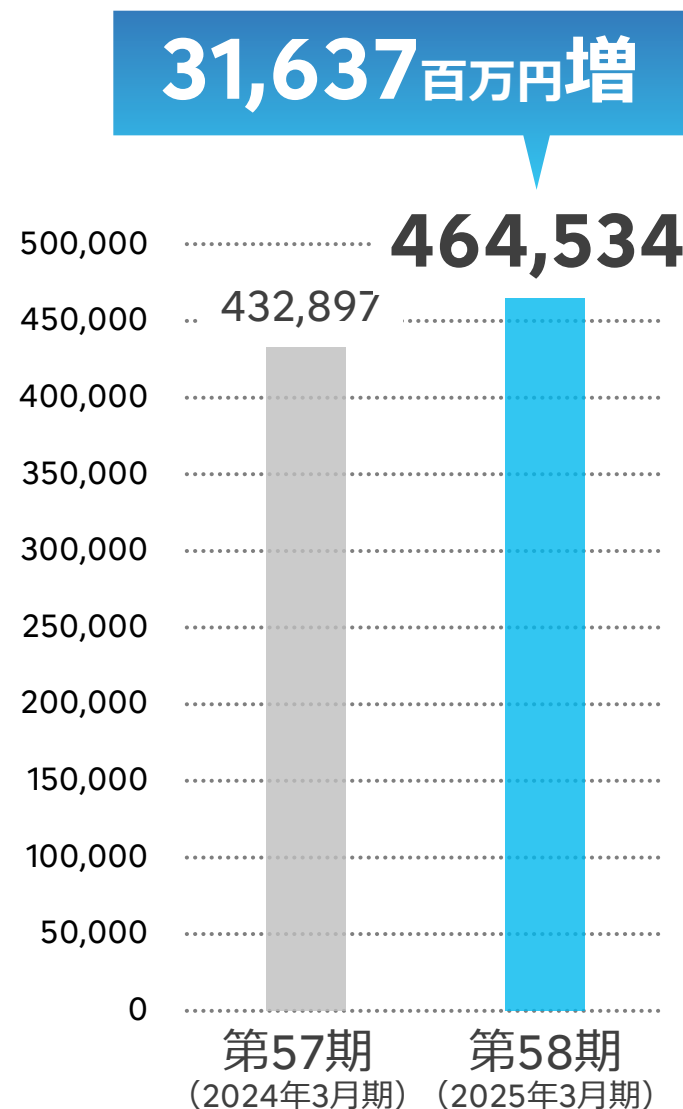
連結財政状態計算書 (IFRS)



〔資本〕

(単位：百万円)

項目	第57期	第58期
親会社の所有者に 帰属する持分	432,045	463,776
非支配持分	851	758
資本合計	432,897	464,534



連結損益計算書 (IFRS)



(単位：百万円)

売上高	508,643
営業利益	87,583
税引前利益	79,221
親会社の所有者に 帰属する当期利益	53,669

2 対処すべき課題

世界経済全体

- ◆ 地政学的リスク
- ◆ 関税政策、世界的な貿易摩擦による景気低迷



依然として不透明な状況が続く

医療を取り巻く環境

- ◆ 医療の質・サービス向上へのニーズの高まり
- ◆ 新興国市場の成長



さらなる成長機会が見込まれる

中期経営計画の全体像



既存事業の強化に加え、新規事業の拡大に取り組み
中長期的な成長性の確保とともに収益性・効率性の改善を目指す



中期経営計画の具体的な取り組み

3つの成長戦略：①既存事業の強化

ヘマトロジー分野（血球計数検査）

◆ 多項目自動血球分析装置 XRシリーズ



各地域（アジア・欧州など）に導入
販売が好調に推移

FDA承認（米国）
米州で今期販売開始

中期経営計画の具体的な取り組み

3つの成長戦略：①既存事業の強化

免疫検査分野

- ◆ 全自動免疫測定装置
HISCL™シリーズ
試薬項目の拡充



アルツハイマー病の検査項目拡大
グローバル展開を推進

中期経営計画の具体的な取り組み

3つの成長戦略：①既存事業の強化

血液凝固検査分野

- ◆ 欧米市場
直接販売開始
- ◆ 各地域
順調に試薬販売など伸長



最上位モデルCNシリーズを今期米州で販売
欧米ビジネスの加速

中期経営計画の具体的な取り組み

3つの成長戦略：②新興国戦略

新興国戦略

- ◆ 市場に適した製品の導入
医療インフラ強化に貢献
- ◆ インド新工場
Make in Indiaに対応した生産を開始



新興国の需要を獲得

中期経営計画の具体的な取り組み

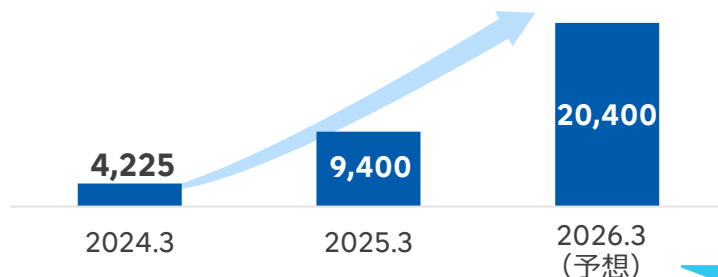
3つの成長戦略：③新規事業の拡大

手術支援ロボットhinotori™

■グローバル累計台数推移 累計 144台



■グローバル累計症例数推移 累計 約20,000症例



欧州等の海外展開に向けた活動を加速

DXによる企業変革

- ◆ グローバルでのデジタル化完了
(新たな基幹システムの稼働)



IT・デジタル化による業務効率化

- ◆ AIの活用（業務の効率化・病気の発症予測など）



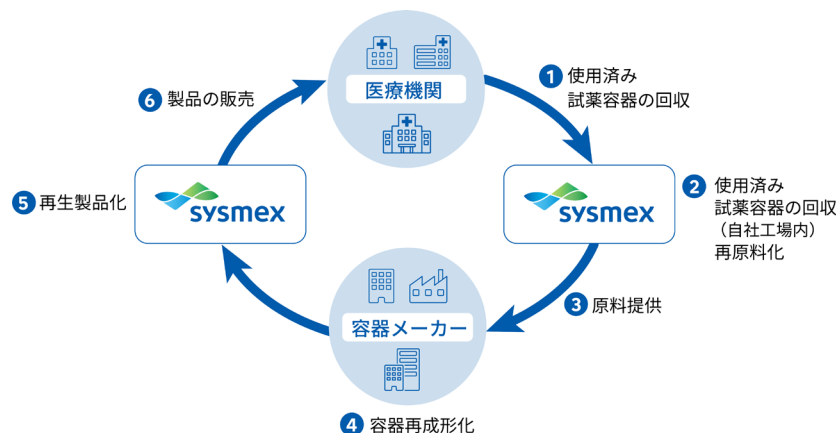
デジタル化・AIの活用により
お客様の課題解決を実現

中期経営計画の具体的な取り組み

サステナビリティ経営の推進

◆ 試薬容器の水平リサイクル*を開始

*使用済み製品を原料として、再び同じ種類の製品を製造するリサイクル方法



使用済みプラスチック製試薬容器

将来の環境規制、原料価格上昇に対応
試薬の安定供給を継続

中期経営計画の具体的な取り組み



サステナビリティ経営の推進

- ◆ 健康経営優良法人の認定
- ◆ ISO 30414 認証取得
- ◆ サステナビリティインデックス選定



MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

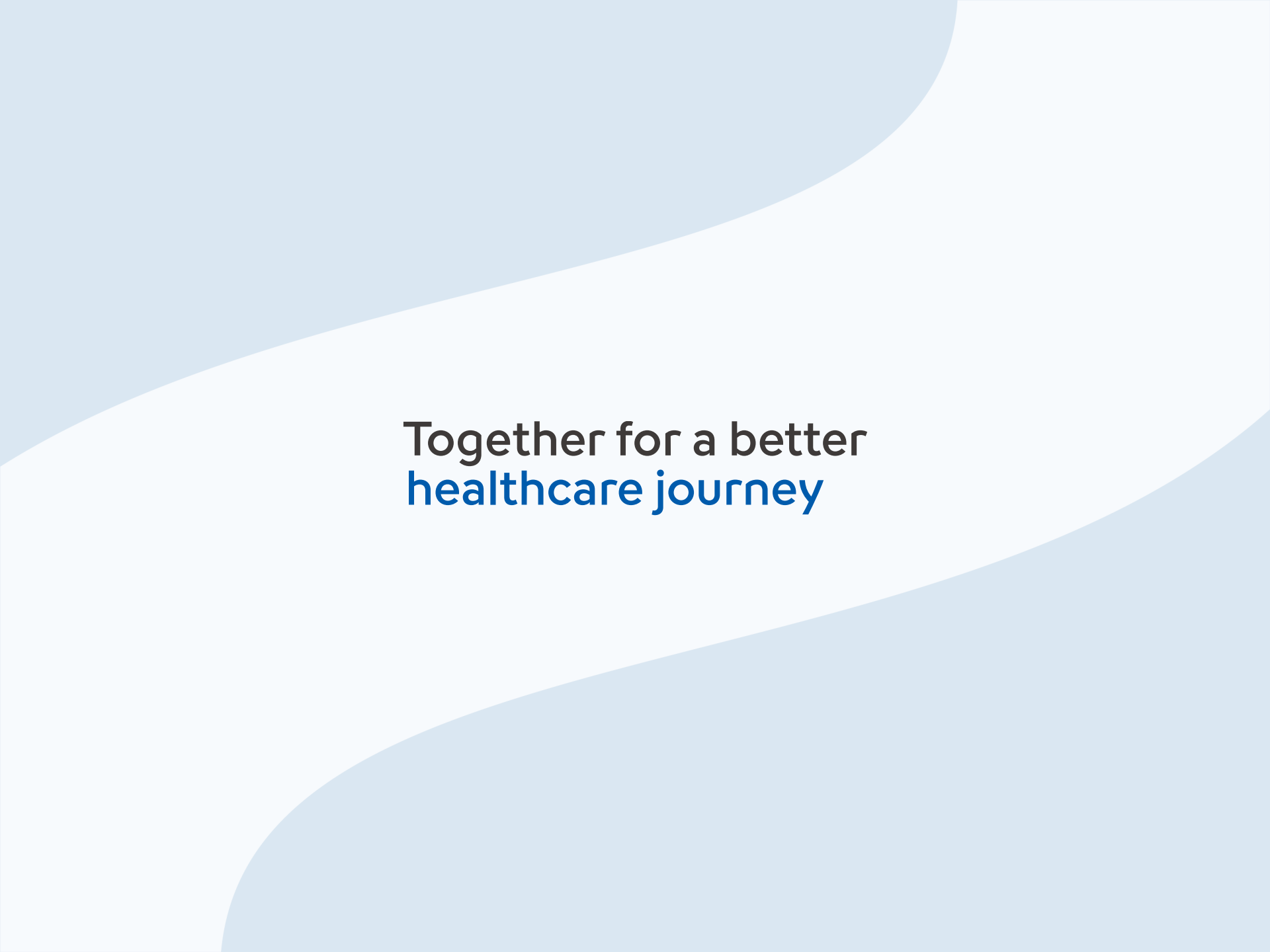
TOP CONSTITUENT 2024



FTSE Blossom
Japan



魅力ある職場の実現



Together for a better
healthcare journey